

4月4日
よみがえられたのです
ルカ福音書24章1～12節

24:1 週の初めの日の明け方早く、
女たちは、準備しておいた香料を持って
墓に着いた。24:2 見ると、石が墓からわきまにこ
ろがしてあった。24:3 入って見ると、主イエスの
からだはなかった。24:4 そのため女たちが途方
にくれていると、見よ、まばゆいばかりの衣を着た
ふたりの人が、女たちの近くに来た。

24:5 恐ろしくなって、地面に顔を伏せていると、その人たちはこう言った。「あなたがたは、なぜ生きている方を死人の中で捜すのですか。24:6 ここにはおられません。よみがえられたのです。まだガリラヤにおられたころ、お話しになったことを思い出しなさい。

24:7 人の子は必ず罪人らの手に引き渡され、十字架につけられ、三日目によみがえらなければならぬ、と言われたでしょう。」

24:8 女たちはイエスのみことばを思い出した。

24:9 そして、墓から戻って、十一弟子とそのほかの人たち全部に、一部始終を報告した。

24:10 この女たちは、マグダラのマリヤとヨハンナとヤコブの母マリヤとであった。彼女たちといっしょにいたほかの女たちも、このことを使徒たちに話した。24:11 ところが使徒たちにはこの話はたわごとと思われたので、彼らは女たちを信用しなかった。

24:12 [しかしペテロは、立ち上がると走って墓へ
行き、かがんでのぞき込んだところ、亜麻布だけ
があった。それで、この出来事に驚いて家に帰っ
た。]

今日はイエス様が復活された
イースターの日曜日の礼拝です。
十字架上で私たちの罪の身代わりになって死
なれ、三日目に復活された勝利の主を
心から礼拝いたしましょう。

イエス様は日曜日の早朝、
墓を打ち破って

死から生に復活され、マグダラのマリヤたち女、
ペテロたちに現れています。

今日のイースター礼拝、復活して私たちの真ん
中にいてくださるイエス様を心からほめたたえて
礼拝をささげましょう。

今日は5節の

「あなた方は、どうして生きている方を
死人の中に捜すのですか」を手掛かりに
して6節のみ言葉

「よみがえられたのです」を学んで行きましょう。

生きている方を死人の中に探すとは
どのようなことでしょうか。

ヨハネ19章38～42節

19:38 そのあとで、イエスの弟子ではあったがユダヤ人を恐れてそのことを隠していたアリマタヤのヨセフが、イエスのからだを取りかたづけたいとピラトに願った。それで、ピラトは許可を与えた。そこで彼は来て、イエスのからだを取り降ろした。19:39 前に、夜イエスのところに来たニコデモも、没薬とアロエを混ぜ合わせたものをおよそ三十キログラムばかり持って、やって来た。

19:40 そこで、彼らはイエスのからだを取り、ユダヤ人の埋葬の習慣に従って、それを香料といっしょに亜麻布で巻いた。

19:41 イエスが十字架につけられた場所に園があって、そこには、まだだれも葬られたことのない新しい墓があった。

①アリマタヤのヨセフやニコデモ
十字架にかかって贖いをしてくださった
イエス様の犠牲に感謝する最大の
感謝を表した。

ヨセフは亜麻布でイエス様のおからだを
包み、新しい墓に埋葬した。

ニコデモは惜しげもなくイエス様の遺体に
30キログラムの香油を注いだ。

香油の値段

1グラム1デナリ、一日の日当
1000円としても3千万円の香油を
十字架上で死なれ血まみれのイエス様の
おからだに注いで。

②一方「女たち」とひとくくりで言われて
いるグループ、

イエス様が十字架にお架かりになっておられる
時、離れたところに立ってイエス様の十字架の
一部始終を見ていました。

イエス様が墓に埋葬される時もヨセフの後につい
て行って、墓とイエス様の体の治められる様子
を見届けています。

家に戻ってその日のうちに香料と香油の準備を
しています。

アリマタヤのヨセフ、ニコデモの行動はここまで、金曜日の夕刻、イエス様の墓への埋葬で終わっています。

貧しい身分の低い女たちは、ニコデモ、ヨセフのような議員さんが埋葬している時は近づけませんでしたが

安息日の終わった時、墓に行ってイエス様のおからだに貧しいながらも香油を塗ろうとして墓に出かけました。

③ 目的は、動機はいったい何でしょうか。

イエス様の十字架上の

犠牲の死

身代わりの死、

贖罪の死

に対する

感謝の思いでイエス様の

おからだに香油を塗ろうとしていました。

2001年1月26日、東京新大久保の駅で
線路に転落した人を助けようとして線路に降お
りて、列車にはねられて
死んだ韓国人の青年。

国籍を超えて人を助けようとして生命を落とした
青年の碑が建てられ、追悼の式が行われてい
る。

三浦綾子作の「塩苅峠」

明治42年2月28日、北海道塩苅峠で列車が暴走して崖から転落する前に、線路に体を投じて列車を止めて、自分の命を犠牲にして乗客の声明を助けた

長野政雄をモデルにした小説。

北海道の塩苅峠には長野さんの慰霊碑がある。

アリマタヤのヨセフもニコデモも、女たちも
イエス様のお体に香油を塗って、
イエス様の贖罪愛、犠牲的な愛に
答えようとしていました。

もう一つの可能性は
イエス様が十字架で苦しまれていた時、
ニコデモやヨセフは逃げていた、自己利益を守る
ために信仰の告白をしていなかった。

その罪意識のために
せめて息を引き取られた今、
出来ることを精いっぱいしたいという
自分の罪責感がさせている行為。

これは「あなたがたは、なぜ生きている方を死人
の中で捜すのですか。」という
生きている方を死人の中で捜していることであり
ます。

なくなった方の追悼、自分の罪責感
それらは死人の中の世界であります。

ここには復活の命はありません。
この女たちに対して神様は新しい計画、
それ以上の世界を
着々と進めておられます。

24:1 週の初めの日の明け方早く、女たちは、準備しておいた香料を持って墓に着いた。24:2
見ると、石が墓からわきに
ころがしてあった。

24:3 入って見ると、主イエスの
からだはなかった。

イエス様の遺体に香油を塗るために
女たちはきましたが、
イエス様のからだはなかった。
もう香油を塗る必要はなくなった。

光り輝く天使が二人、
女たちに近づいて言った。

「イエス様はここにはおられません。
よみがえられました。」

泣いて墓のそばでたたずんでいるマリヤに
イエス様は現れ、マリヤと声をかけられマリヤもラ
ボニ、先生と応答して
復活の主にまみえたことを喜んでいきます。

マグダラのマリヤはこの時
墓のそばで復活された
イエス様と出会っています。
わたしたちはどうしたら生きている方を
生きた方の中で捜して
出会うことができるのか。

ルカ24章13節からイエス様の二人の弟子クレオパとその仲間とイエス様の出会いが書かれています。この二人はその日、イエス様がよみがえったという知らせを聞いたその日曜日、エルサレムを離れ、エマオという自分の出身の村に帰ろうとしていました。

そこへ復活されたイエス様が近づき話されましたが彼らはイエス様と気が付きませんでした。目が遮られていました。

彼らが分かった瞬間は

ルカ24:30 彼らとともに食卓に着かれると、イエスはパンを取って祝福し、裂いて彼らに渡された。24:31 それで、彼らの目が開かれ、イエスだとわかった。するとイエスは、彼らには見えなくなった。24:32 そこでふたりは話し合った。「道々お話しになっている間も、聖書を説明してくださった間も、私たちの心はうちに燃えていたではないか。」

エマオへの途上の二人の弟子はイエス様がパン
を取って神様をほめたたえ、裂いて彼らに渡され
る時、

彼らはイエス様だとわかりました。

「道々お話しになっている間も、聖書を説明して
くださった間も、私たちの心はうちに燃えていたで
はないか。」

彼らがイエス様と分かった瞬間

それはいのちのパン、神様のことばを聞いている
時心が燃え、目が開かれてイエス様が分かりま
した。

牧師として伝道している時、
なんとかイエス様が分かってほしい、
イエス様を信じてほしいと一生懸命
聖書の話をしたり、自分の証しをしたり
他の方の証しをします。

イエス様が分かりました、信じます
という告白を聴く時はとても大きな喜びが
あります。

女たちはイエス様の埋葬された墓に、
十字架で血を流され傷だらけになった

おからだから目が、心が

離れませんでした。またイエス様に十分な
ことが出来なかった罪責感。

ここに気が取られて

イエス様が約束された言葉が心に入っていませ
んでした。

24:26 キリストは、必ず、そのような苦しみを受けて、それから、彼の栄光に入るはずではなかったのですか。」 24:27 それから、イエスは、モーセおよびすべての預言者から始めて、聖書全体の中で、ご自分について書いてある事からを彼らに説き明かされた。

神様の約束のことは、聖書の約束を
信じて、いのちのパンをいただくように、
心の中でみことばをかみしめて
咀嚼する時、
わたしたちのために苦しみ、
よみがえり、今もともにいてくださり、
目を開いてくださり、心を熱くして燃やして
下さる復活の主と共に歩むことができます。

アリマタヤのヨセフ、ニコデモ、女たち、
イエス様が十字架にかかられた時、
何も出来なかった、しっかりと信仰の告白も
出来なかった。

その罪意識から、イエス様のおからだに
香油を塗ろうとしていたのかもしれませんが。

イエス様はよみがえられました。

ここにはおられません。

自分の自責の念に世界にとどまらないで、
わたしたちにおからだを割いて永遠のいのちのパンを与
えてくださる復活のイエス様を見つめて行きましょう。

わたしたちの過去の自責の念、
罪意識がいかに多くとも、
香油を塗ることで罪が赦されるのでは
ありません。

イエス様が与えてくださる命のパン、
イエス様の救いをただただ信じる時、
救われて神様の子としていただけます。

ミッヒー君のユーチューブ
イースター俳句バトル
十字架で ぶち壊された 過去の僕

祈り

主イエス様、私たちの罪のために十字架で苦しみ、死に、葬られ、よみがえってくださったことを感謝します。私たちはいろんな間違ったところに救いを求めてきました。今は、神様の約束の言葉を信じ受け入れて救われ、神様と交わり、罪の赦し、永遠の生命の喜びの中を歩めることを感謝します。主を求めておられる方々が、いのちの恵みにあずかられるようにお祈りします。アーメン。